様式第26号

診療用放射線照射装置設置届

　　　年　　　月　　　日

熊本市保健所長(宛)

届出人(管理者)

診療用放射線照射装置を設置したいので、医療法第15条第3項に基づく医療法施行規則第26条の規定により次のとおり届出をします。

|  |  |
| --- | --- |
| (フリガナ) |  |
| 名称 |  |
| 開設の場所 | 〒 　　校区 TEL 　　　　　　FAX |
| 装置の概要 | 製作者名 | 型式 | 台数 | 使用室名 | 放射性同位元素 | 予定使用開始時期 |
| 種類 | 数量 |
|  |  |  |  |  | Bq |  |
| 診療用放射線照射装置を使用する医師、歯科医師又は診療放射線技師の氏名及び経歴 | 氏名 | 職種 | 放射線診療に関する経歴 |
|  |  |  |
| 所 長 | 課　長 | 副課長 | 主　幹 | 主　査 | 班　員 | 起案 年 月 日 本届出書を受理したので供覧します。 |
|  |  |  |  |  |  |
| 受 付 印 | 決 裁 印 |
|  |  |
|
|
| 添付書類放射線発生装置の位置及び照射方向並びに天井、床、周囲の画壁防護物の材料及び厚さを記入した使用室図面隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した使用室の平面図及び側面図放射線照射装置使用室などにおける遮蔽能力を示す図面及び計算書 |

1.診療用放射線照射装置の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 製作者名 |  |
| 型式 |  |
| 装備されている放射性同位元素の種類 |  |
| 装備されている放射性同位元素の数量 |  |
| 診療用Ｘ線装置の併設 | 有　・　無 |

2.放射線障害防止に関する構造設備等の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 装置の防護 | (\*)放射線源収納容器の放射線量(照射口閉鎖時線源から1ｍの距離における線量) | Ｇｙ／時 |
| 二次電子ろ過板 | 有・無 |
| 照射口開閉遠隔操作装置 | 有・無 |
| 使用室 | 室名 |  |
| 建築物の構造 | 1.耐火構造　2.不燃材料　3.その他（ ） |
| 遮蔽物箇所 | 構造 | 材料 | 厚さ（mm） |
|  防護物の概要 | 天井 |  |  |  |
|  | （東） |  |  |  |
| （西） |  |  |  |
| （南） |  |  |  |
| （北） |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 床 |  |  |  |
| 出入口のとびら |  |  |  |
| その他の開口部 |  |  |  |
| 装置を操作する場所 |  |  |  |
| (\*)画壁外側の最大1cm線量当量 | mSv/週 |
| 出入口の数 | 1.通常出入口 所 2. 非常出入口 所 |
| 放射線発生時の自動表示装置 | 有・無 |
| 標識 | 有・無 |
| 管理区域 | 境界における外部放射線の1cm線量当量(＊) | μSv/週 |
| 限措置立入制 | 使用中の表示 | 有・無 |
| 注意事項の表示 | 従事者用 | 有・無 |
| 患者用 | 有・無 |
| 標識 | 有・無 |
| そ の 他 | (＊)敷地内居住区域及び境界の1cm線量当量 | μSv/3月 |
| 入院患者（放射線治療患者を除く）の被ばく放射線の1cm線量当量が1.3mSv/3月以下となる措置 | 有 | 無 |
| 内容 | 理由 |
| 被ばく防止のための器具 | 1.防護衣 2.防護衝立 3.その他（ ） |
| 取扱者の被ばく線量測定器具 | 1. ガラスバッチ等 2.その他（ ） |

備考　　　診療用放射線照射装置の概要等については、装置毎に作成すること。

* + 1. (＊)の各放射線量は、それぞれの算出の根拠を明らかにすること。(遮蔽計算書など)